



産業能率大学 小々馬ゼミ

## 代官山 ブランド経営研究会

### 第 2 回

# 2000年代に P&Gが到達した ブランドマネジメントの姿を振り返る

2000年代、アラン・ラフリーCEOが行ったP&G再生ストーリーは経営学のケーススタディとして有名です。今回は当時、氏のリーダーシップの元で行われたブランドマネジメントの体系を振り返ります。「消費者がボス」を信念とするマーケティング活動、FMOTの思想を規範とするP&Gならではのショッパーズマーケティングの考え方など当時をよく知る(元)P&Gのブランドマネジャーをお招きします。

入場無料

日 時 2014年10月2日(木)午後6時30分

会 場 産業能率大学 代官山キャンパス 産能マネジメントスクール

発表者 高田雄生 氏

リ・ブランディング株式会社 代表取締役

発表者紹介

高田雄生 (たきだゆうき)

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン (P&G) マーケティング本部にて、ブランドマーケティングに12年間従事。「SK-II」、「Max Factor」、「illume」を歴任後、P&Gブランドマーケティングを小売りチェーンに応用展開する。ショッパーマーケティング部日本統括マネージャーを務める。

平成22年にリ・ブランディング ジャパンを設立。温泉旅館やホテル、地域や都市を対象に、観光ブランドマーケティングの支援に取り組むコンサルティング会社を経営。本年には自身でメンズコスメティックブランドをプロデュース。関西国際大学地域研究所 客員研究員。



代官山 ブランド経営研究会

ブランドマネジメントの実務者をゲストスピーカーに迎えて行う公開セミナーです。この研究会はグローバルビジネスの最前線で今まさに起こっている事象をライブに情報交換し日本企業のブランド経営の発展について考えることを目的として、趣旨に賛同いただく方々のボランティアにより運営する「無料公開セミナー」です。

問合せ

産業能率大学 経営学部  
教授 小々馬 敦

brand-m@mi.sanno.ac.jp